

令和4年2月21日

意見書

足柄上商工会経営発達支援計画事業評価委員会
仁科 亮

令和3年度経営発達支援事業(伴走型支援推進事業)の実施結果について

・**総評**：令和3年度経営発達支援事業(伴走型支援推進事業)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響などによる市場構造の変化などに対応する形で、支援の質的側面の充実を意識しつつ、着実に推進されたものと評価いたします。

・**地域の経済動向調査**：各町から寄せられる経済動向分析結果のほか管内信用金庫が四半期ごとに公表している中小企業景気動向調査を、ホームページにリンクして公表し、地域の事業者に対する的確な情報提供をおこなった。

・**経営状況の分析**：これまで指導・支援を行った事業者及び融資推薦や補助金申請をおこなおうとする事業者に対して、定性・定量両面からの経営状況分析を実施した。本年度は、事業再構築補助金申請事業者等に対してヒアリングを中心とした定性的な経営状況分析に力を入れて行っている。

・**事業計画策定支援**：補助事業計画策定を中心に計画策定支援を実施した。Web集客をテーマにしたセミナーの参加者が多くあり、ネットショッピングなどの強化に強い関心を持つ事業者に対応することができた。また、経営指導員と専門家でチームを組んで事業者の計画づくりにきめ細やかに対応し、計画策定後の実行支援につなげることができた。

・**事業計画実行支援**：各分野の専門家を活用して、収益の拡大(事業化)につなげる支援をおこなうことができた。(IT専門家によるグーグルマップを活用したマーケティング活動の支援、弁理士によるアイデアの特許や実用新案申請につなげる支援など)

・**新たな需要開拓支援**：今年度は、経営計画・事業計画の作成をおこなった事業者を対象に、その計画を支援し新たな需要開拓に寄与するため「事業者の計画への思い」を東海ホームページ上に「あしがら彩人記」を立ち上げて掲載し広報支援を行った。来年度以降は、商談会・展示会への出展支援等対面でのマーケティング活動を活発に行うことが期待される。

・**「地域経済活性化に資する取組」「他の支援機関との連携ほか情報交換」**については、この2年間新型コロナウイルス感染症等の影響により十分な活動ができていない。次年度以降はリモート(オンライン)技術等を活用するなどして、充実した活動を展開することが期待される。

・**経営指導員の資質向上**：今後も定期的なミーティングの開催や計画的な外部研修への参加などを通じて、情報の共有や見識の向上を図りたい。

以上